



## 「臨時休校の延長」どう乗り越えるか???(校長より)

緊急事態宣言の解除は行われず、それに伴って臨時休校の解除も延期となってしまいました。週一日の登校日を除き、教室に子供がいないことが日常になってきてしまい、なんとも寂しいかぎりです。

「STAY HOME」とうたわれたゴールデンウィーク。子供たちはどのように過ごしたことでしょうか。公園やレストランも閉鎖だったり休業だったりして、例年とは全く違った過ごし方になったのではないのでしょうか。私はこのお休みに、なかなか手をつけられないでいた「断捨離」に挑戦しました。やり始めるとなかなかきりにならず、ちょっと中途半端なままです。まだまだ不要不急の外出を自粛する期間は続きそうですので、また少しずつ取り組んでいこうと思っています。

さて、4月に引き続き5月も休校になってしまい、子供たちの学力や心の成長をどのように保障していくのか。これが学校に課せられた一番の課題です。5月末までの休校でなくなってしまった授業をどう確保するか。学ばせなければいけない学習内容を、どう扱っていくか。今後も検討していきます。基本的な方針は以下の通りです。

### ○ 臨時休校中は、これまで通り課題を家庭で取り組むようにしてください。

登校日には、課題の成果を確認しています。今後も登校日の学習と家庭で取り組む課題とで学力が定着するよう工夫していきます。(※)家庭でも学校と同じ45分ずつの学習に取り組むことで、生活リズムも整うと考えています。

### ○ 授業を1時間プラスして行います。

臨時休校が解除されて学校が再開されたときには、以前お知らせしたように、授業時間を1時間プラスして行っていきます。下校時刻等については、今後配付します「やまびこ(学校だより)」裏面で御確認ください。

### ○ 長期休業の短縮や、行事の延期・中止等を含めた見直しを行います。

子供の学力の保障(授業時数の確保)を第一とし、以前お知らせした長期休業の短縮や行事の延期・中止も見直さなくてはなりません。また、行事自体のもち方の検討もしていきます。詳細は、おっってお知らせします。

### ○ 登校日や学校再開後には、子供の心のケアも大切にしていきます。

高学年の子供たちでも今まで体験したことがないような事態です。子供たちと顔を合わせたときには、話を聴いたり表情をよく見たりしていきます。

(※)文科省からは、「家庭学習を評価に反映することができること」「家庭学習で学んだことを再度対面指導で取り扱わないこととすることができること」が通達されています。状況によっては加味していかなければならないこともあると考えています。

今後も、登校日には学校からお知らせしたいことを、随時、お便りにして配付していきます。御確認をお願いします。